

Campus Life

No174 2019.8



虹のシザース完成(日本大学理工学部建築の岡田・宮里研究室の学生が設置)



カナダへの認定留学



第5回全国大学女子硬式野球選手権に出場

学部長ご挨拶と新任教員の紹介



日本大学国際関係学部長

渡邊 武一郎

暑い日が続きますが、学生の皆さんは元気に学生生活を過ごされていることと思います。本年度は国際関係学部には691名、短期大学部ビジネス教養学科に107名、食物栄養学科に72名、専攻科食物栄養専攻に17名、大学院国際関係研究科には9名、更には、三島高等学校に570名、三島中学校に51名と、三島キャンパス全体で1,517名の新入生を迎えることが出来ました。全ての生徒、学生、大学院生を合わせると、三島キャンパスでは約5,000人が学んでいます。

国際関係学部では4年前に導入した新カリキュラムも本年度で完成年度を迎えます。6つのコース(国際関係、国際ビジネス、グローバルスタディ、グローバル観光、国際文化、国際コミュニケーション)から、各々の興味関心、将来の夢をもとに自分でコース選択をし、4年間学んできた皆さんが、これからどのような進路に進まれるか楽しみです。

国際関係学部では4年前に導入した新カリキュラムも本年度で完成年度を迎えます。6つのコース(国際関係、国際ビジネス、グローバルスタディ、グローバル観光、国際文化、国際コミュニケーション)から、各々の興味関心、将来の夢をもとに自分でコース選択をし、4年間学んできた皆さんが、これからどのような進路に進まれるか楽しみです。

今年度は国際関係学部に観光学の矢嶋敏朗先生、中東研究の小副川琢先生、スポーツ科学の加藤秀治先生、国際法学の菅野直之先生、Japan Studies のP.マルティネス先生と陳怡禎先生をお迎えしました。また、短期大学部(三島校舎)ビジネス教養学科にはS.ドレイジ先生、食物栄養学科には柿崎博美先生にファカルティとして加わっていただきました。

今年、国際関係学部は創設40周年を、短期大学部食物栄養学科は創設60周年を迎えます。そして、10月4日には日本大学が創立130周年を迎えます。この輝かしい歴史と伝統を誇りつつ、これからも「日に日に新たに」の精神で、学生の皆さんも一緒に前へと歩み続けましょう。



国際総合政策学科

准教授 小副川 琢

現代中東の国際関係を研究しています。担当科目は「地域研究(中東)」や「国際政治学」、「政治学」等で、現実世界の動向を見るのに必要な理論や知識を授業で取り上げています。「国際関係学部を選んで良かった」と、一人でも多くの学生から言ってもらえるような環境作りを目指します。



国際総合政策学科

准教授 矢嶋 俊朗

旅行会社に31年間勤務し、日本旅行業協会出向時は、業界が一体となったインターンシップ運営等人材育成も担当していました。主な研究分野は「観光関連事業」「観光人材育成」です。卒業後の就職を意識し学業は勿論、実務家教員として学生の「社会人基礎力」も醸成したいと考えています。



国際総合政策学科

助教 加藤 秀治

「スポーツ総合」、「スポーツ科学と健康」を担当しています。学生に健康管理の大切さ、スポーツの楽しさを教えています。授業では基礎的な内容から「わかりやすく、丁寧に」を意識しながら行い、一人でも多くの学生が健康やスポーツへの関心を持ってくれるように取り組んでいきたいと思っています。



国際総合政策学科

助教 菅野 直之

「国際関係論」や「国際法」等を担当しています。専門は国際法学で、特に海洋法について研究しています。海洋法とは、海洋に関する国際社会の規範です。学ぶことの奥深さや楽しさを知ってもらえるような授業を目指しています。



国際教養学科

助教 陳 怡禎

「サブカルチャー論」、「Japan Studies」、「地域研究」等を担当し、現在は「台湾や香港における社会運動における若者文化実践」について研究しています。身近な文化事象を扱う論理的な考察を授業に取り入れ、学生の勉強意欲を引き出すように心掛けています。授業を通して学生のアジア社会・異文化コミュニケーションへの関心を広げていきたいです。



国際教養学科

助教 P.マルティネス

「Japan Studies」、「学際研究」等を担当しており、日本文学と文学翻訳を専攻しています。講義は英語で行い、アクティブ・ラーニングを中心にしています。講義中のディベート学習やグループワークを通じて学生さんの英語の活用能力向上を目指し、将来自分の英語力に自信を持ち活用して頂けたら幸いです。



ビジネス教養学科

専任講師 S.ドレイジ

「英語」の授業を担当しています。イギリス出身で、哲学と文学を勉強していました。今は現代英語文法に興味を持っています。サッカーをすることや映画(好きなジャンルは「Film Noir」)を見ることが好きです。よろしくお願ひします。



食物栄養学科

助教 柿崎 博美

「化学」、「生化学」、「基礎栄養学」等の授業を担当しています。授業は、初めての学生さんでもわかりやすく丁寧に伝え、科目を超えた様々な話題を紹介することで知的好奇心を伸ばすことを心掛けています。学生に寄り添い、それぞれの幸せな未来を切り拓くお手伝いをしていきたいと考えています。

平成30年度退任者

国際関係学部			短期大学部(三島校舎)
教授 円居 総一	教授 西田 司	教授 大久保 あかね	
教授 大川 英明	助教 駒 美保	教授 小柳津 周	
教授 堅尾 和夫	助教 塩梅 弘之	助教 中川 裕子	
教授 井上 桂子	助教 八塚 春名		
教授 井上 健			

開講式

4月3日、満開の桜の下、平成31年度開講式が桜アリーナ(総合体育館)で行われ、大学院国際関係研究科、国際関係学部、短期大学部(三島校舎)の新生を三島キャンパスに迎えた。この日から様々なガイダンスや部活・サークルの勧誘も行われ、新緑のキャンパスは学生の活気で満ち溢れた。



1年生ソフトバレー大会



1年次の必修科目である「自主創造の基礎」では、親睦を深めるためクラス対抗ソフトバレー大会を開催。珍プレー・好プレーの連続で大いに盛り上がった。

参加者には集合写真が贈られた。

インド・ゴア大生来日

5月初旬、本学部提携校であるゴア大学から5名が来日、約1か月間の日本研修を実施。本学部での授業及び工場見学、箱根旅行等のアクティビティを通じて、日本語や日本文化を学んだ。日大生とゴア大生が共に学ぶ講義も行われ、英語で日本の生活様式を説明したり、両国について活発に意見交換。送別会ではゴア大生が三島での学びについて心のこもったスピーチを披露してくれた。



ニューヨーク州立ストーニーブルック大生来日



6月上旬、提携校のストーニーブルック大学から20名の学生が来日、約1か月間の日本語研修を実施した。午前には日本語の授業、午後

は部活動訪問を通じて様々な日本文化を体験。留学生は三島市周辺のご家庭にホームステイし、素顔の日本を知る貴重な機会を得た。本学部学生も得意の英語能力を駆使し、各種行事の企画から運営まで積極的に参加した。

国際機関資料室で「フランス文学の旅」開催中

国際機関資料室(EU情報センター)では、5月9日のヨーロッパデーを記念し、毎年「日・EUフレンドシップウィーク」を開催している。今年のテーマは「フランス文学の旅」。著名作家にまつわる資料展示の他、当館所蔵の原書や翻訳本、関連図書も閲覧することができる。会場は図書館1階閲覧室、本年9月30日(月)まで開催。

女子硬式野球部が躍進中



創設6年目の女子野球部が、ヴィーナスリーグ(関東女子硬式野球リーグ)で好成績を収めている。昨年の大学選手権でも準優勝するなど、まだ競技人口の少ない女子野球の発展のため、日々の練習に汗を流している。

「2019年度上期市民公開講座」

6月上旬から、上期市民公開講座「グローバル化する観光に地域社会はどう対応するか」を開催。本学部の教員を中心に計5回の講演を行った。訪日外国人客の増加で注目されるインバウンド戦略やマーケティング手法、あたらな観光ニーズ



への対応など、様々な角度から静岡県・伊豆地域の観光の可能性が紹介された。毎回多くの市民の皆様がご参加くださり、活発な質疑応答や意見交換が行われた。

避難訓練を実施



6月24日、避難訓練を実施。地震発生から火災発生を想定し、退避行動を行った。参加学生は予想以上に迅速に非難した。静岡県は南海トラフ地震による被害も想定されている。災害時にはこの体験を活かし、迅速かつ冷静な行動をしてほしい。

オープンキャンパス開催

例年どおり前期のオープンキャンパスを国際・短大で実施した。国際では学部説明、模擬授業、入試・留学・奨学金・就職相談等の各種相談コーナーを設置し、在学生トークでは、留学経験から得た国際感覚や大学での学びの大切さを在学生の目線で大勢の高校生と保護者に熱心に伝え、好評だった。



最新のキャンパスニュースは、国際関係学部・短期大学部ホームページにて、随時更新してお伝えしています。ぜひご覧ください。

百聞は一見に如かず。「現場」を学ぶ日大生

書物や教室内での話では飽き足らない。そんな好奇心旺盛な学生のニーズに応じるため、国際総合政策学科では、法律、政治、ビジネスなどの現場で活躍する専門家を招いた学術講演会を開催しています。本年度前期は、4名の講師を迎えての実施となりました。6月は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)調



学術講演に耳を傾ける学生たち

査国際部参事の水野素子氏から、「宇宙活動と法政策」と題して、日本や諸外国の宇宙活動の現状や課題について、公正取引委員会事務総局中部事務所長の田邊靖夫氏から

「独占禁止法の意義と役割」というテーマの下、経済と法律の双方に関わる法律である独占禁止法について、それぞれ講演が行われました。また、7月には水族館プロデューサーで、日本バリアフリー観光推進機構理事長の中村元氏から、「カスタマーズ起点による観光文化と集客の本質」と題して、観光地のマーケット特性である「コミュニティマーケット」について論じていただきました。

さらに、本学科では実践的な知見を得る観点から、学生自身が現場に赴いて見聞することを重視し、毎年度学外研修を実施しています。本年度前期は、日本の政府開発援助(ODA)について学ぶためJICA地球ひろばを訪問したほか、東京ディズニーランドを経営する株式会社オリエンタルランドのビジネススキームを学ぶため、同社での研修やパークでの実地視察も行いました。

さらに深く現場を知りたい。そうした要望にも応えるべく、3年生



学外研修/JICA地球ひろば



学外研修/東京ディズニーランドにて

を対象とした夏季のインターンシップ・プログラムも充実させています。本年度は内田洋行、ウエルシア薬局、シダックス等の業界大手や、伊豆箱根鉄道、三島信用金庫等の地元企業、三島市役所等の公共機関を含む40社近くで実施する予定です。

グローバル化が進み、様々な情報で溢れる中、学生の関心も多様化しつつあります。より多くの学生に満足してもらえる大学教育の実現に向けて、教職員は一丸となって努力していきます。

大学院・国際関係研究科だより

指導体制がさらに充実。研究アドバイザー制度の導入

大学院国際関係研究科では、今年度から指導体制のさらなる強化を行うため、「研究アドバイザー」制度を導入し、教育研究活動の一層の充実を目指しています。



学際研究会の様子

これまで本研究科では、各大学院生について2名の研究指導教員から学位論文等の指導を行い、大学院担当以外の教員もサポート教員として教育研究上の助言等を行ってきました。

今後さらに研究指導の充実・発展を推し進め組織的に大学院教育を行うため、各大学院生の専攻分野の周辺領域を専門とする本学部の専任教員を「研究アドバイザー」とし、教員の所属学科を問わず幅広い助言が可能になりました。

また、6月20日に博士前期課程に在籍している米国のイリノイ州立大学からの交換留学生ジョーダン・バラードさんがアイヌ文化に関する自身の研究成果を発表しました。指導に携わる教員や参加した関係者から沢山の質問が飛び、盛んな議論が行われました。

様々な分野の専門家による講演会、国内外の芸術・文化に触れる 学外研修を通して教養を深める

国際教養学科では、幅広い教養を育むため、普段の授業に加え、様々な分野で活躍する専門家をお招きし、学術講演会を開催しています。令和元年度の前期には、以下のような多彩なテーマで学術講演会を実施しました。

第1回 学術講演会(6月19日)

原 正人 氏(翻訳家)

「世界マンガ入門 - フランス語圏のマンガ“バンド・デシネ”を中心に」



第2回 学術講演会(6月21日)

大高 保二郎 氏(早稲田大学名誉教授)

「戦争を描く! ゴヤとピカソ - 史実から芸術へ」

第3回 学術講演会(7月4日)

ロン・クラシゲ 氏(南カリフォルニア大学教授)

「Ethnic Identity in the United States: Complexity, Change, and Comparison(アメリカ社会におけるエスニック・アイデンティティ: 複雑でつねに変化するものとして、またその国際比較)」



第4回 学術講演会(7月10日)

古谷 浩一 氏(朝日新聞論説委員)

「日中関係と国民感情」

また、芸術を通して文化を理解し、人生や社会を考える機会として芸術鑑賞会を開催しています。前期には、次のような芸術鑑賞会が開催されました。

第1回 芸術鑑賞会(6月4日)

高橋 恵子 氏(工学院大学孔子学院学院長)

「京劇のルーツ、昆劇の魅力に迫る」

第2回 芸術鑑賞会(6月25日)

野澤 和之 氏(映画監督)

「がんと生きる 言葉の処方箋」



学外研修では、キャンパスを飛び出し、学生自身が国内外の芸術や文化に直接触れながら、教養を深めています。今年度前期には、美術館めぐりや歌舞伎、ミュージカルの鑑賞を実施しました。

第1回 学外研修 - 美術館めぐり(6月22日)

東京の上野公園にある国立西洋美術館と東京都美術館を訪問し、ゴッホやモネ、クリムトなど西洋絵画の名作を鑑賞しました。



第2回 学外研修 - 歌舞伎鑑賞(7月7日)

七月大歌舞伎を堪能しながら、日本の伝統芸能や文化について理解を深めました。

第3回 学外研修 - ミュージカル鑑賞(7月14日)

劇団四季のミュージカル「アラジン」を鑑賞しました。

三島キャンパス 告知板

【保護者就職相談会】

国際関係学部・短期大学部(三島校舎)では、富桜祭の時期に保護者の皆様を対象とした就職相談会を開催しています。コンサルタントによる講演と、大学の就職担当教職員による個別相談の二部構成で実施します。奮ってご参加ください。

日 時:令和元年10月27日(日) 13:00 - 16:00

場 所:日本大学国際関係学部三島駅北口校舎

【国際関係学部海外ゼミナール実施 2019・夏期】

鄭勛燮ゼミ 韓国(ソウル)

安元隆子ゼミ ロシア(サンクトペテルブルク)

【後期の奨学生募集】

日本大学三島後援会奨学金(第1種)

募 集:10月の予定

対 象:他の学内奨学金の給付を受けていない者で、自宅通学が不可能な地域からの下宿学生、及び、遠隔地域からの新幹線通学の学生

給付額:120,000円(新幹線通学静岡駅からのみ80,000円)

なお、第1種春期の採用者であっても再申請可です。

詳細は、募集の際に確認して下さい。

三島キャンパス広報誌「Campus Life」は、保護者の皆様に新鮮な内容をお届けするべく、年に2回発行しています。次号は、2020年3月の予定です。

短期大学部(三島校舎)・学科だより **ビジネス教養学科**

ビジネス教養学科では、2019年度入試から入学定員をそれまでの80名から100名に変更しました。少子化の時代にもかかわらず、学生募集は順調に進展し、おかげさまで今年度も入学定員を確保することができました。2019年4月には新入生107名が入学し、2年生92名と合わせ合計199名で新学期をスタートしました。短大本来の使命である短期職業人育成に加え、4年制大学への編入学に力を入れていることを知っていただけたことが、この結果につながったものと考えています。これからも本学教職員一同、気を引き締めて教育・指導に当たっていきます。

都市部の4年制大学の入学定員の厳格化は編入学試験にも影響を与えています。4年制大学側からは、退学者が出た場合の欠員補充の役割として編入学試験が見直されつつあります。これまでも多くの4年制大学から編入学試験の推薦枠をいただいておりますが、今後この傾向はますます強くなっていくものと考えられます。

一方、本来の短大の使命である短期職業人教育にも、これまでどおり力を入れています。これまでの日本的経営の特徴であった年功序列型賃金・終身雇用制・新卒時一括採用などを特徴とする、いわゆる「メンバーシップ型雇用」から、職務や勤務地を限定するいわゆる「ジョブ型雇用」へとダイナミックに変化しつつあります。ジョブ型雇用では、専門スキルの有無が就職活動の結果を大きく左右します。

ビジネス教養学科の授業には、就職活動に有利な資格取得に直接かかわりのある科目が多く開講されています。簿記、パソコン、ファイナンシャルプランナーなどの商学、経済学系の資格だけでなく、観光系の国家資格である「旅行業務取扱管理者」の勉強も可能です。就職を目指している学生だけでなく、編入学を目指している学生の皆さんにも是非チャレンジしてもらいたいと思います。編入学後では、こうした資格のための勉強に時間を確保するのはとても難しいのが現実です。保護者の皆様からも、資格取得を是非とも後押ししていただきたいと思います。

また、ビジネスの世界が国境を越えて展開される現在では、専門スキルだけでなく、英会話のスキルも教養として求められる時代となりました。取引先が海外の企業であったり、外国人労働者を採用する企業も増えていますので、一般事務を希望する場合であっても英会話は必要なスキルとなります。

昨年度より実施している「TOEIC® LISTENING AND READINGテスト100UPトレーニング」は、印刷教材だけでなく、タブレットやスマートフォンをオンラインで使い、それぞれの理解度に合わせ基礎的な文法や語彙を短期間に修得す

ることができるプログラムです。希望者のみが一部有料で実施していますが、2年生50名、1年生70名が受講しております。

短大はあっという間の2年間です。目標をしっかりと定め、勉学に励んでいただきたいと思います。



津山ゼミナールの様子

》三島キャンパスの後期の予定《

9/20 》 後期授業開始

10/4 》 創立記念日(休校)

10/20 》 ワールド・カフェ
(学部・短大1年生対象)

10/26・27 》 富桜祭

12/24 》 冬季休暇開始

2020 1/9 》 冬季休暇終了

1/10 》 授業再開

1/11~28 》 到達度確認期間

1/28 》 後期授業終了

1/29~31 》 定期試験

3/25 》 日本大学卒業式
学位記等伝達

短期大学部(三島校舎)・学科だより 食物栄養学科

食物栄養学科は、2年制の栄養士養成施設であり、卒業と同時に栄養士の資格が取得できます。また、栄養士資格の他に5つの資格(フードスペシャリスト、製菓衛生師(国家資格)、NRサプリメントアドバイザー、フードアナリスト、介護職員初任者研修)取得をサポートしています。

本学科では、高度な専門知識や技術を実践的に学べるカリキュラムとなっており、栄養士資格取得のため講義と実験実習を組み合わせた授業形式になっています。1年生は入学早々に学生生活サポート研修、2年生は校外実習事前指導を実施し、通常の授業だけでは学ぶことができない理論や知識の修得ができる機会を設けています。

1年生学生生活サポート研修及び学外研修

食物栄養学科では、新入生の授業履修計画や大学生生活がスムーズにスタートできるように学生生活サポート研修を毎年実施しています。平成31年度は4月20日(土)にサポート研修と学外研修を同時に実施しました。サポート研修では、グループワークを実施し、クラスの垣根を越えて仲間とふれあい、協力し合い、様々なお題をクリアすることで協調性や積極性を養いました。サポート研修を終えた後、学食でクラスごとに遠足のような和やかな雰囲気の中で昼食をとりました。また、学外研修は、裾野市にあるヤクルト富士裾野工場の見学をしました。予防医学と健康長寿を目的として開発されたヤクルト誕生秘話、乳酸菌の生理機能などの説明を受けたのちに、製品製造過程を見学させていただきました。学生にとって非常に有意義な一日になったと感じています。



2年生校外実習事前指導

短大2年生は、栄養士必修科目として、2年次の夏季休暇中に校外実習として2か所(病院と、学校・保育園・高齢者施設・事業所のいずれか)へ45時間ずつ学びに行きます。校外実習を受講するにあたり、事前・事後の教育を授業外の補講科目として1年次後半から実施しています。事前の内容は、担当教員からの指導の他、外部講師を招きマナー講座(電話のかけ方、挨拶の仕方、身だしなみ等)、現場の最前線で活躍されている各施設栄養士から業務の講習会、ワークショップなど16時限かけて取り組み、校外実習へ臨みます。



短期大学部(三島校舎)・専攻科食物栄養専攻だより

専攻科食物栄養専攻は、日本大学短期大学部食物栄養学科の卒業生や栄養士養成施設として認可を受けた短大あるいは専修学校を卒業した栄養士資格取得者が、より高度な知識と技術を習得するための教育機関です。本専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科の認定を受けており、4年制大学卒業と同等の学位(栄養学 学士)の取得が可能です。それにより、更なる知識と技術を求めて大学院への進学も可能となります。また、2年間の在学期間は管理栄養士国家試験の受験資格に必要な年数に加算できるため、専攻科修了後1年間の実務経験を経て国家試験受験資格を得ることができます。



臨床栄養学特別実習I(校内実習)個人栄養指導の媒体作り

国際関係学部

建設業	卸売業・小売業	不動産・物品賃貸業	教育・学習支援業
旭化成ホームズ(株)	(株)カスミ	穴吹興産(株)	(株)イーオン
セキスイハイム東海(株)	カネカ食品(株)	APAMAN(株)	神奈川県教育委員会
大和ハウス工業(株)	(株)杏林堂薬局	(株)MDI	(株)シェンコーポレーション
タマホーム(株)	(株)クリエイトエス・ディー	(株)オープンハウス	静岡県教育委員会
日鉄住金テックスエンジ(株)	国際紙バルブ商事(株)	住友三井オートサービス(株)	(株)秀英予備校
日本住宅(株)	(株)コジマ	太陽建機レンタル(株)	(学)常葉大学
(株)日立プラントサービス	コネクシオ(株)	(株)大和地所	日本大学高等学校・中学校
三菱電機ビルテクノサービス(株)	(株)三栄コーポレーション	ダイワロイヤル(株)	(学)藤枝学園
製造業	サントリービバレッジサービス(株)	東急リパブル(株)	北海道教育委員会
SGホールディングス(株)	(株)ジェイアール東海パッセンジャーズ	日本エスリード(株)	短期大学部(三島校舎)
(株)きもと	(株)静鉄ストア	ハウスコム(株)	
ジヤトコ(株)	(株)鳥忠	三井不動産リアルティ(株)	建設業
(株)東芝	(株)スギ薬局	(株)リログループ	(株)クラスト
東芝機械(株)	鈴与商事(株)	宿泊業・飲食サービス業	納得住宅工房(株)
東芝テック(株)	スターゼン(株)	アパホテル(株)	製造業
東芝ライフスタイル(株)	スターティア(株)	(株)くらコーポレーション	サンワフーズ(株)
日本ハムファクトリー(株)	(株)ストライプインターナショナル	スターバックスコーヒージャパン(株)	(株)石舟庵
日本電波工業(株)	静甲(株)	(株)スーパーホテル	(株)長倉製作所
日本特殊塗料(株)	双日マシナリー(株)	(株)セブン&アイフードシステムズ	富士産業(株)
はごろもフーズ(株)	ディーゼルジャパン(株)	(株)セルリアンタワー東急ホテル	(株)富士根産業
(株)不二越	(株)ツルヤ	タリーズコーヒージャパン(株)	(株)ヤクルト本社
(株)ミクニ	(株)ディーエイチシー	(株)東急リゾートサービス	(株)やまひろ
山崎製パン(株)	東邦薬品(株)	(株)プリンスホテル	繊維工業
横浜冷凍(株)	日産自動車販売(株)	(株)ホテルニューアカオ	(株)イング
(株)LIXIL	日本製紙木材(株)	(株)横浜ベイホテル東急	運輸業・郵便業
情報通信業	日本ビジネスシステムズ(株)	リゾートトラスト(株)	一般財団法人静岡県交通安全協会
エヌエイチケイ営業サービス(株)	(株)ノジマ	(株)LEOC	伊那バス(株)
(株)熊本放送	(株)バイタルネット	生活関連サービス業・娯楽業	卸売業・小売業
静岡放送(株)	ピアス(株)	(株)エイチ・アイ・エス	(株)アスモフードサービス
静岡SBSグループ 静岡新聞社・静岡放送	(株)ビックカメラ	(株)エポラブルアジア	ウエルシア薬局(株)
(株)DTS	富士貿易(株)	(株)近畿日本ツーリストコーポレートビジネス	(株)エス・ティ・シー
ディップ(株)	(株)富士薬品	(株)サンライフ	(株)小泉
日興システムソリューションズ(株)	(株)マザーハウス	(株)ジェイアール東海ソアーズ	興和(株)
(株)バンダイナムコエンターテインメント	丸尾興商(株)	(株)JTB	日清医療食品(株)
(株)日立ICTビジネスサービス	明和産業(株)	TBCグループ(株)	(株)ヒノデ
(株)福島放送	(株)ヤナセ	(株)阪急交通社	(株)麗生堂本店
(株)ブロードリーフ	ユアサ商事(株)	(株)LAVA International	フジ産業(株)
(株)マイナビ	ユーシーシーフーズ(株)	複合サービス事業	(株)ゴラ
三菱総研DCS(株)	(株)ユナイテッドアローズ	茨城むつみ農業(協)	金融業・保険業
(株)リクルートスタッフィング情報サービス	横浜ゴムMBジャパン(株)	大井川農業(協)	(株)静岡中央銀行
運輸業・郵便業	ラディックス(株)	さがみ農業(協)	スルガ銀行(株)
味の素物流(株)	ラルフローレン(株)	静岡市農業(協)	静岡信用金庫
ANAウイングス(株)	リコージャパン(株)	信州うさだ農業(協)	(株)セントラルパートナーズ
ANAエアポートサービス(株)	(株)レッドバロン	南駿農業(協)	第一生命ホールディングス(株)
ANA沖縄空港(株)	金融業・保険業	日本郵便(株)	不動産・物品賃貸業
ANA関西空港(株)	茨城県信用組合	サービス業(他に分類されないもの)	(株)ミニミニ静岡
ANA新千歳空港(株)	青梅信用金庫	(株)アウトソーシングテクノロジー	宿泊業・飲食サービス業
花王ロジスティクス(株)	(株)群馬銀行	アクセンチュア(株)	(株)グランベルホテル
京浜急行電鉄(株)	(株)京葉銀行	(株)アマナ	(株)グリーンハウス
佐川急便(株)	埼玉信用組合	(株)インソース	シダックス(株)
JFE物流(株)	(株)七十七銀行	(株)エイジック	(株)セブン&アイフードシステムズ
(株)JALエービーシー	(株)静岡銀行	ANAスカイビルサービス(株)	タイタコーポレーション(株)
鈴与(株)	(株)静岡中央銀行	静銀ビジネスクリエイト(株)	日本セネラルロード(株)
鈴与通関(株)	静銀ティーエム証券(株)	静銀モーゲージサービス(株)	(株)メフォス
清和海運(株)	(株)清水銀行	(株)JALスカイ九州	雄大(株)
仙台国際空港(株)	(株)ジャックス	新幹線メンテナンス東海(株)	生活関連サービス業・娯楽業
第一港運(株)	湘南信用金庫	(株)セレスポ	(株)メモワール
東海旅客鉄道(株)	城南信用金庫	(株)ニチイ学館	医療・福祉
東京地下鉄(株)	(株)親和銀行	(株)日本経済広告社	(医)社団高志会あい歯科クリニック
西日本鉄道(株)	スルガ銀行(株)	(株)日本空港ロジテム	(医)邦友会小田原循環器病院
日本物流(株)	第一生命保険(株)	(株)ネオキャリア	(株)中部衛生検査センター
日本航空(株)	東海東京証券(株)	(株)マーケットエンタープライズ	たなか歯科
東日本旅客鉄道(株)	東京海上日動火災保険(株)	(株)リクルートセクシィなび	(社福)子育て会
北海道旅客鉄道(株)	(株)東京スター銀行	公務	(社福)湖成会
(株)丸和運輸機関	東芝保険サービス(株)	静岡県伊東市	(社福)秀生会
ヤマト運輸(株)	東洋証券(株)	神奈川県警察本部	(社福)静岡恵明学園
卸売業・小売業	長野県労働金庫	警視庁	(社福)道心
(株)AOKI	長野信用金庫	国土交通省海上保安庁	(社福)富士育英福祉会
(株)アステム	日本郵政グループ	静岡県警察本部	池上長尾保育園
(株)アルバン	沼津信用金庫	静岡県島田市	複合サービス事業
出光興産(株)	平塚信用金庫	静岡県庁	御殿場農業(協)
伊藤忠食品(株)	富士信用金庫	静岡県富士市	日本郵便(株)
(株)IDOM	富士宮信用金庫	静岡県焼津市	富士市農業(協)
ウエルシア薬局(株)	三島信用金庫	静岡県吉田町	サービス業(他に分類されないもの)
(株)エコス	みずほ証券(株)	駿東伊豆消防組合	(株)イージーセンター
エスアイエナジー(株)	(株)三菱UFJ銀行	東京消防庁	(株)セラク
(株)エディオン	明治安田生命保険(相)	富山市消防局	(株)ニチイ学館
(株)エンチャー	明和證券(株)	防衛省航空自衛隊	公務
(株)大塚商会	焼津信用金庫	防衛省陸上自衛隊	防衛省陸上自衛隊
(株)カインズ	山梨県民信用組合	北海道室蘭市	

就職先の傾向について

国際関係学部では、広く学際的な学びを展開していることから、卒業生の就職先も多岐にわたっています。進路を業界別で分析すると、卸売・小売業(24.1%)、サービス業(20.0%)、情報通信業(9.7%)の順となっています。また、公務員、教育業界、航空や鉄道を含む運輸業界等にも順調に人材を輩出しています。大学新卒求人においては、業界や企業規模にかかわらず、主体的行動力やコミュニケーション調整力に加え、国際的対応力が高く評価されます。これらの基礎能力は、当学部が用意している各種のカリキュラムをきちんと消化すればおのずと身に着きますので、1年次から真剣に学習に取り組んでいただきたいと思います。

短期大学部(三島校舎)の卒業生の主な就職先は、医療・福祉業(27.1%)、卸売・小売業(23.5%)、宿泊・飲食サービス業(14.1%)となっています。短期大学部学生は、1年次から就職活動を開始しなければならないため、卒業後の進路を入学後早急に決定し、学業に取り組む必要があります。